

会議要旨

会議の名称	第2回川越市子どもサポート本部会議
開催日時	令和7年11月20日(木)午後6時00分～7時30分
開催場所	川越市役所本庁舎7階 A B会議室
議長氏名	遠藤克弥(福島学院大学) (進行:大牟田副課長)
出席者	<p>横山敦子(小学校長会)、関本晶子(PTA連合会)、松本紀美子(子ども会育成団体連絡協議会)、佐藤保雄(自治会連合会)、遠藤克弥(福島学院大学)【オンラインによる出席】、山下正雄(青少年を育てる市民会議・中央地区サポート委員会)、奈良明英(中央南地区サポート委員会)、鈴木誠(中央北地区サポート委員会)、角田忍(芳野地区サポート委員会)、鈴木貴裕(古谷地区サポート委員会)、小峰肇(霞ヶ関地区サポート委員会)、吉羽慶時(霞ヶ関北地区サポート委員会)、美代川幸雄(名細地区サポート委員会)、中島利一(山田地区サポート委員会)、羽生田奈々絵(中央図書館長)</p> <p>計15名</p>
欠席者	<p>矢部智史(中学校長会)、田中幸二(南古谷地区サポート委員会)、斎藤修(高階地区サポート委員会)、吉里秀一郎(福原地区サポート委員会)、山田幸次(大東地区サポート委員会)、世古口竜一(川鶴地区サポート委員会)、小熊政彦(中央公民館長)、中里良明(博物館長)</p> <p>計8名</p>
事務局職員	吉野地域教育支援課長、大牟田副課長、杉原指導主事、野原主査、小池主任、吉田社会教育指導員
傍聴者	なし
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 報告・確認事項</p> <p>(1) 専門部会報告 (資料1)</p> <p>(2) 令和7年度子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」受賞者について (資料2)</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 令和7年度子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示計画 (資料3-1) ・表彰計画 (資料3-2) (資料3-3) <p>(2) 各地区情報交換</p> <p>活動報告 → 質疑応答 → 情報共有したいこと</p>

5 連絡事項

(1) 今後の予定

「小江戸見つけ隊」準備	12月10日（水）・11日（木）
「小江戸見つけ隊」開催	12月12日（金）～14日（日）
「小江戸見つけ隊」表彰式	12月14日（日）
第3回本部会議	2月20日（金）

(2) 活動報告書作成について

（参考）

(3) その他

6 閉会

配付資料

資料1 第1回子どもサポート本部会議専門部会（結果概要）
資料2 子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」受賞者一覧
資料3-1 美術館展示計画（1F市民ギャラリー、2Fアートホール）
資料3-2 令和7年度 子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」表彰式（案）
資料3-3 令和7年度 子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」表彰式
（参考） 令和7年度各地区子どもサポート委員会活動報告書の提出について（依頼）

会議録

1 開会（大牟田副課長）

2 あいさつ（遠藤本部長）

3 報告・確認事項

(1) 専門部会報告 (資料1)

●事務局より資料に基づいて説明⇒質問意見等特になし

(2) 令和7年度子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」受賞者について (資料2)

●審査委員長より資料に基づいて報告⇒質問意見等特になし

※市立美術館で開催する子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」展示会の会場で上映する「各地区子どもサポート委員会の活動紹介」スライドショー視聴

4 協議事項

(1) 令和7年度子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」について

・展示計画

(資料3-1)

●事務局より資料に基づいて説明⇒質問意見等特になし

・表彰計画

(資料3-2) (資料3-3)

●資料の会場の名称について、多目的ホールを視聴覚ホールに訂正

●事務局より資料に基づいて説明⇒質問意見等特になし

(2) 各地区情報交換

活動報告 → 質疑応答 → 情報共有したいこと

●中央：23日に「わがまちのなぞを探検しよう」を実施予定。子どもが17名、大人が14名、委員が10名くらい参加。交通量が多いところも行くので安全に気を付けて実施したい。

●芳野：8月に寺子屋を2回開催。スポーツフェスティバルの綱引きに向けて、練習会・体験会を実施。ミシンサポートは5、6年生計4回実施。2月に「あつまれ芳野っ子」を開催予定。去年はドッヂビーを行ったが今年についてはこれから話し合う。

●古谷：本部会議に初めて出席。昨年度、今年度と委員会の活動が増えてきた。東中、古谷小、県立川越特別支援学校の校長先生も会議に出席してもらい、相談しながら進めている。LINEでサポート委員を募集して増えてきた。保護者以外の地域の方々をどう巻き込むかが課題。古谷小と特別支援学校との交流をサポート。

●霞ヶ関：霞南小のサツマイモ植え付け、つる返し、収穫をサポート、豊作だった。霞南小、霞小の消防署見学サポート。霞小の町探検では各グループをサポート。霞西中のロードレース大会支援。小学校3校のたこ上げと昔あそびのサポートを予定。サポート委員は自治会、PTAのあて職。委員があまり増えないし、高齢化している。放課後子供教室を霞南小、霞西小で実施している。来年、霞小で立ち上げに関わる。

●霞ヶ関北：学校ごとに部会長を置いて、毎月、部会長と副部会長の打合せ会を実施。3校それぞれ大きな行事を1回ずつ実施。9月に霞東中で地域ふれあい体験講座を実施し、よさこい、マレットゴルフ、茶道、浴衣の着付け、フォークダンスなどの体験講座を行った。12月7日に霞北小でこどもあそびフェスティバルを開催予定。バルーンアート、シャボン玉、紙飛行機、カルタ、ビーチバレーなどを行う予定。霞東小のこどもあそびフェスティバルを2月に開催予定。各校からの要望を受けて、ミシンボランティアを行うことができた。

●名細：世代間交流をテーマに掲げている。高齢者との接点を持たせたい。高齢者も発表会などで忙しい。来年度に向けて、公民館登録団体の協力を得て防災学習に取り組む。中学生は高齢者を支える立場になってほしい。情報発信はすぐるを活用、募集にも活用している。地区内の中学校2校は吹奏楽部の活動が盛んである。名細中ミニコンサートも4回目となり、中学生に企画運営をしてもらっている。鯨井中吹奏楽部にはハーフマラソンの折り返し地点で演奏してもらう。応援手旗を小学生に作成してもらう。委員会の構成がPTA中心になっているのを変えていきたい。イベントが土曜中心で、習い事などで参加しにくい面もある。

- 山田：生葉の藍染めを6月に実施。藍染めはサポート事業が始まってからずっと続いている。9月の藍染めではTシャツを染めた。保護者も一緒に取り組んだ。10月にホタルの幼虫を配布した。成虫になるまで各家庭で育てる。3月に上陸装置を作製する予定。12月27日に「まが玉づくり」を予定。
- 中央北：広報紙を見てほしい。寺子屋を2日間実施したが、来年度以降1日開催にするか話し合う。「ジュニアリーダーとあそぼ」でジュニアリーダーに活躍の場を提供している。「まが玉づくり」は2日間4枠で開催し、申し込みの児童全員参加。「スタンプラリー」は博物館、本丸御殿の協力で実施、3種類あるコースの1つ目に戻って行った。「冬のひろばであそぼ」は大東文化大学の学生に活躍の場を提供する形で実施。中央北は委員が主体的に活動している。ちょっとずつできることをやるというボランティアの基本を大切にしている。委員より緩い立場の「なかま」という組織を作り、イベントのときに協力してもらっている。
- 中央南：広報紙を見てほしい。中央南には小学校3校、中学校2校がある。ミシン、昔あそび、たこづくり、調理実習などの支援をしている。今年度初めて寺子屋を実施した。中学生ボランティアが大変熱心だったので、来年度からは中学生を中心に対応したい。ミシンや調理実習の保護者ボランティアを募集している。自治会にもボランティアを募集している。参加してくれた人にボランティア登録をしてもらっている。ボランティアの確保がうまくいっている。調理実習でアレルギーの情報共有についてお願いした。

5 連絡事項

(1) 今後の予定

「小江戸見つけ隊」準備	12月10日（水）・11日（木）
「小江戸見つけ隊」開催	12月12日（金）～14日（日）
「小江戸見つけ隊」表彰式	12月14日（日）
第3回本部会議	2月20日（金）

(2) 活動報告書作成について

(参考)

●委員長あてに依頼文書を配布

(3) その他

●特になし

6 閉会（松本副本部長）

※閉会後、表彰部会の担当者（奈良委員、美代川委員、関本委員）に集まってもらい、「表彰式」シナリオをもとに詳細な部分について打合せを行った。